

# 当院のPD 関連腹膜炎における排液培養陰性率についての検証

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

腹膜透析関連腹膜炎は腹膜透析における合併症で、抗菌薬投与による治療効果が乏しい場合は腹膜透析のカテーテルの抜去を要します。よって起因菌を把握し、感受性のある抗生剤を使用することが非常に重要です。また、腹膜炎の起因菌を把握することで、原因となる病態に応じた予防策をとることが可能となります。

国際腹膜透析学会では培養陰性腹膜炎(原因菌が特定できない腹膜炎)の割合が15%以下であることが推奨されています。本研究は当院における培養陰性率を把握することを目的とします。特に2022年からは血液培養ボトルおよび遠心管の2セットを提出しており、2セット培養の効果を検証します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2020年4月から2026年3月に当院で腹膜透析関連腹膜炎の診断を受けられた方

## 使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、培養方法、培養結果、使用抗生剤、転帰など

使用開始予定日：2026年6月2日

## 研究予定期間

2026年6月2日～2026年11月29日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 腎臓科 大浦路子

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

### 問い合わせ先

済生会熊本病院 腎臓科 大浦路子

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)